

## 学生生活という経験。その本質的な価値を高めるために

英国で学ぶ外国人留学生たちは当然、メリットを期待する。  
その思いは希望というより切望に近いと思う。留学生たちの〈経験〉の質を高めること。  
それは英国の義務です。渡英を決意した人たちへの責任です。

学費を全額、自身で支払う外国人留学生。当然ですが彼らは、その投資に見合うメリットを求めています。そして、その期待値は非常に高くなっています。その思いは切望といってもいいかも知れません。彼ら彼女らの期待を確実に理解し、しっかりと応えるために、英国は学生経験そのもののクオリティを常に向上させる必要があります。留学生が経験する事柄は多岐に渡り、出願・ビザ申請、出発前準備、研修から実際の英国での生活と勉強にまで及びます。

英国では PMI2 の元で、各部門代表者から成る諮問グループのサポートを受けた英国留学生問題協議会 (UKCISA) が戦略的リーダーとなり、教育部門内での開発分野の特定、優良事例の普及、新しい考えの試験導入、将来開発を進めるべき分野の研究を行っています。

さらに UKCISA は、教育サイドの質の向上にも着目。高等教育分野の留学生に対するサービス提供について英国全土に及ぶ調査を実施しています。その成果である報告書、『高等教育機関における留学生へのサービス提供に関する評価基準 (Benchmarking the Provision of Services for International Students in Higher Education Institutions)』と付属の自己診断ツールを使えば、留学生サポートのすべての側面について、教育サイドで自校と全国平均との比較評価が可能となっています。つまり、教育を受ける者、教育を提供する者、その両者に目を向けているのです。

加えて、継続教育にフォーカスした新たな報告書、『継続教育機関における留学生へのサービス提供に関する評価基準 (Benchmarking the Provision of Services for International Students in Further Education Institutions)』が発行されました。この報告書にも自己診断ツールが添付されているので、継続教育機関は自校が現在提供しているサービスの水準を把握しその実績を他校と比較して、改善すべき点の有無、改善が可能な分野を検討できます。

UKCISA は優れた事例と画期的な事例も集めています。その一例として「パイロットプロジェクト賞制度 (Pilot Projects Awards Scheme)」を通じてケーススタディを実施。多くの教育機関から英国在住の留学生の経験の質の向上を目指す画期的なプロジェクト提案を募集し、作成された提案は他の機関にも配布されます。この制度は順調に進み、3年目を迎え、30件近くの申請が寄せられました。そのうち12件に対して新たに資金援助が認められています。同様に「海外研究訪問制度 (Overseas Study Visits Scheme)」は、主要競合国の教育機関において関連性のある政策と優れた事例を発見することを目的としています。ここ最近の募集には14件の応募があり、そのうち6件に資金援助が認められました。

PMI2 を通じての資金提供により、この他にも様々な新しい発想がカタチになっています。その一方、留学生アドバイザー、全国学生連盟 (NUS) の留学生担当オフィサー、継続教育カレッジの職員などこの分野で活動するスタッフ向けのイベントや、上級スタッフ向けの政策サミットも企画されています。英国の〈教育〉はそのクオリティを維持しさらに高めるために、英国の外にも中にも常に目を向けています。

### 〈教育〉環境の質を向上させるために New resources

## Webをはじめとした、新たなメディアを駆使しています

学生援助団体 (UNIAID) が開発した「留学生計算ツール (International Student Calculator)」は、英国での生活費を試算できるオンラインツールです。外国人学生が自己資金と時間の制約を考慮しながら生活の予算を計画できます。このウェブサイトには、実際の学生を例にしたケーススタディと共に、留学生が計画立案に活用できるアドバイスが掲載されています。同サイトでは今後、継続教育部門の留学生向けの計算ツール、留学生の対応に当たるスタッフ向けの研修資料などを開発する予定です。

「成功へ向けての準備 (Prepare for Success)」というウェブサイトもあります。これは学生の学業上の経験にフォーカスしたツールです。サウサンプトン大学が開発したこのツールを使って、外国人学生は英国到着前に留学生としての生活の準備を進めることができます。このウェブには対話式テスト、クイズ、学習方法・批判的思考法・講義・リスニング・ノート取り・正式な話し方といった科目ごとの活動が掲載されています。

オリエンテーション・プログラムの計画立案、指導 (メンタリング) 制度やボランティア制度の導入に関する実践的なガイドブックも開発され、無料コピーが担当窓口配布されました。若い学生へのケアに関する入門書『18歳未満の外国人留学生: ガイダンスと模範事例 (International students under 18: guidance and good practice)』も、継続教育の担当窓口に配布されています。このガイドのコピーは UKCISA のウェブサイトで見つけることができます。

「世界を結ぶ架け橋 (Bridging our Worlds)」は留学生への対応を担当するスタッフ向けの研修 DVD です。この DVD では、英国での生活・学習において、驚いたこと、戸惑ったこと、困難を感じたりしたことを率直に語る留学生が登場し、また留学生が直面する問題について学生と職員が考えを述べています。『指導者マニュアル』が添付されたこの DVD は、留学生をめぐる問題に関する研修の実施を任された担当者にとって貴重な資料となっています。DVD は UKCISA のウェブサイトで見つけることができます。

## Events イベント

英国留学生問題協議会 (UKCISA) は特別イベントに加え、学生の経験に関する大規模なサミットを開催しています。このサミットでは、PMI2 の各種プロジェクトを紹介し、これまでに達成した成果や現在達成しつつある成果を評価し、今後の活動内容とその範囲を検討します。また、現在英国が取り組んでいる画期的で「世界的に認められた」活動にフォーカスし、教育機関または政府による改善が可能な点を検討します。学生経験に関する次回サミットの日程と開催地については、UKCISA のウェブサイトにて詳細が掲載されています。

## Other areas of development その他の開発分野

現在重視されている問題としては、留学生向けの教授法と学習法、留学生に対応するスタッフの継続職能研修 (CPD)、国境を越える教育 (TNE) を受けている学生に対するサービス提供の検討などがあります。また全国学生連盟も新たに主要な留学生戦略を策定する予定で、その目的は学生自治会で留学生の代表を増やし、英国人学生と留学生の一層の交流を図ることです。

上述したすべてのプロジェクトについては、ウェブサイト [www.ukcisa.org.uk/pmi](http://www.ukcisa.org.uk/pmi) で詳細をご覧ください。

## Other links その他の関連ウェブサイト

International Student Calculator (国際学生計算ツール)  
[www.studentcalculator.org.uk/international](http://www.studentcalculator.org.uk/international)

“Prepare for Success” (成功へ向けての準備)  
[www.prepareforsuccess.org.uk](http://www.prepareforsuccess.org.uk)